

安全データシート（SDS）

1. 製品及び会社情報

製品の名称	: ニューアルファフォーム 3310A (型式番号：泡第27～5号)
会社名	: ヤマトプロテック株式会社
住所	: 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2
電話番号	: 0570-080100（ナビダイヤル）
担当部門	: テクニカルサポート室
推奨用途及び使用上の制限	: 泡消火薬剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類区分

下記に記載が無い項目は、「分類できない」あるいは「分類対象外」

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分外

急性毒性（経皮） : 区分外

急性毒性（吸入：蒸気） : 区分外

急性毒性（吸入：粉じん/ミスト） : 区分外

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2

特定標的臓器毒性（単回暴露） : 区分1

特定標的臓器毒性（反復暴露） : 区分1

: 区分2

環境有害性

水生環境有害性（急性） : 区分2

水生環境有害性（長期間） : 区分3

絵表示又はシンボル



本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

強い眼刺激

発ガンのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害（呼吸器、心臓、腎、中枢神経系）

長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害（呼吸器系、心臓、腎臓、中枢神経系）

長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（肝臓、粉じんの吸入：自律神経系）

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

安全対策

環境への放出を避けること。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱中は、皮膚に触れない様に注意し、保護眼鏡（ゴーグル型）、保護手袋、

保護マスク、保護衣などの適切な個人用保護具を着用すること。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いとき又は呼吸に関する症状が出た場合は医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は医師の診断／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。

気分が悪いとき、皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合は医師の診断／手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

保管

換気の良い場所で施錠して保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄

内容物／容器等の製品付着物は関係法令に従って廃棄すること。



3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	化審法番号 安衛法番号	濃度又は濃度範囲
水	7732-18-5	対象外 あり	50～60%
エチレングリコール	107-21-1	(2)-230 あり	10～20%
炭化水素系界面活性剤	あり	あり あり	5～15%
ヘキシルカルビトール	112-59-4	(2)-2424 あり	5～10%
フッ素系界面活性剤	あり	公示前 あり	1～5%
カチオン性ポリマー	あり	あり あり	1～5%
アジピン酸	124-04-9	(2)-858 あり	1～5%
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	112-34-5	(2)-422 2-(8)-99	1～5%
エアタノール	あり	あり あり	1～5%
塩化ナトリウム	7647-14-5	(1)-236 あり	1～5%

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

4. 応急措置

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡をとりその指示に従う。

吸入した場合

負傷者を新鮮な空気のある場所に移動し、休息させる。水でうがいをする。

嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。

皮膚に付着した場合

すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。

皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。

眼に入った場合

直ちに清浄な水で5分間以上洗い流す。眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。

眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

水または牛乳をあたえ胃内を薄める（無理に吐かせない）。水で口内を洗う（その人の意識がある場合のみ）。嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。

事故の場合または気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける。

直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項やラベル、SDSを示す。

応急措置をする者の保護

救急者は、保護具を着用する（ばく露防止措置の注意事項を参照）。

医師に対する特別な注意事項

直ちに医師の診断を受け、この容器のラベルに記載された注意事項又はSDSを示す。

5. 火災時の措置

消火剤：泡、噴霧水、乾燥砂、粉末。

特有の消火方法：周辺火災の場合：移動不可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。

着火した場合：火元（燃焼源）を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火。

消火を行う者の保護：火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具（送気マスク、自給式呼吸器等）を着用する。

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

6. 漏出時の措置

関係法規に準拠して作業する。

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は保護具（ばく露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し、風上で作業する。

屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。

漏出した場所の周辺にはロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。

封じ込め及び浄化方法及び機材：漏出液を密閉可能な容器にできる限り集める。

残留液は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。

回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。

二次災害の防止策

漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。

万一、河川公共水路等流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

容器は注意して取扱い、開ける。

使用時には飲食しない。

皮膚との接触を避ける。

眼との接触を避ける。

眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。

すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。

皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。

技術的対策

換気のよい区域でのみ使用する。

取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。

取扱いは換気のよい場所で行う。

作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。

局所排気装置の設置された場所で作業する。

眼／顔面用の保護具を着用する。

適当な保護衣および眼／顔面用の保護具を着用する。

取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。

安全取扱注意事項

知見なし

接触回避

情報なし

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

保管

安全な保管条件

熱から離して保管する。

着火源から離して保管する－禁煙。

容器を密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度（暴露限界値、生物学的暴露指標）

エチレングリコール : STLE C 100mg/m³, 上限値, (ACGIH)

ジエチレングリコールモノブチルエーテル : TWA 10ppm (IFV), STEL

設備対策

取扱いについては全体換気装置または局所排気設備を設置した場所で取扱う。

取扱い場所の近くにシャワー・手洗い・洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸器の保護具 : 本製品を多量に使用する場合、または密閉空間で使用する場合には送気式、もしくは自給式呼吸器を推奨する。

手の保護具 : 不浸透性手袋（ウレタン製等）。

眼の保護具 : 保護眼鏡（ゴーグル型）または保護面（防災面）。

皮膚及び身体の保護具 : 帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态 : 液体

形状 : 液体

色 : 淡褐色

臭い : 特異臭

pH : 7.0～7.8 (20℃)

融点・凝固点 : -15℃以下

沸点、初留点及び沸騰範囲 : 100℃

引火点 : 引火せず

爆発範囲 : 情報なし

蒸気圧 : 情報なし

蒸気密度（空気＝1） : 情報なし

比重（相対密度） : 1.09 (20℃)

溶解度 : 任意の割合で混和する（水）

粘度（粘性率） : 31 cSt (20℃：キャノンフェンスケ)

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

10. 安定性及び反応性

安定性	： 通常の取扱いにおいては反応性はない。
反応性	： 通常の保管及び取扱いの条件では安定と考えられる。
危険有害反応可能性	： 情報なし。
避けるべき条件	： 情報なし。
混触危険物質	： 情報なし。
危険有害な分解生成物	： HF（フッ化水素）やF ₂ （フッ素ガス）、フルオロカーボンを生成する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	： 計算値(ATEmix) > 2000
急性毒性（経皮）	： 計算値(ATEmix) > 2000
急性毒性（吸入：気体）	： 分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	： 計算値(ATEmix) > 20000 （注：毒性値をppmVに換算して計算）
急性毒性（吸入：粉じん・ミスト）	： 計算値(ATEmix) > 5.0
皮膚腐食性・刺激性	： GHS区分を判断するための十分な情報なし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	： 眼または皮膚区分1の成分合計×10+（眼区分2、2Aまたは2B成分合計）≥10%
呼吸器感作性	： GHS区分を判断するための十分な情報なし
皮膚感作性	： GHS区分を判断するための十分な情報なし
生殖細胞変異原性	： GHS区分を判断するための十分な情報なし
発がん性	： 0.1%以上の区分1A成分あり
生殖毒性	： 0.3%以上の区分1A成分あり
特定標的臓器毒性，単回ばく露	： 10%以上の区分1成分あり
特定標的臓器毒性，反復ばく露	： 10%以上の区分1成分あり；1%以上10%未満の区分1成分あり または、10%以上の区分2成分あり
吸引性呼吸器有害性	： GHS区分を判断するための十分な情報なし
その他	
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2の成分を1%以上10%未満含有する
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2の成分を1%以上10%未満含有する

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性（急性）：毒性乗率×区分1の成分合計×10+区分2の成分合計≥25%

水生環境有害性（長期間）：毒性乗率×区分1の成分合計×100+区分2の成分合計×10+区分3の成分合計≥25%

オゾン層への有害性：モントリオール議定書で列記された成分の含有情報なし

残留性／分解性：情報なし

生体蓄積性：情報なし

土壤中の移動性：情報なし

その他

その他の環境有害性：BOD:53000mg/l 計量方法 JIS K 0102 21及び32.3

COD:304000mg/l 計量方法 JIS K0102 17

13. 廃棄上の注意

この製品及び容器・包装材は安全な方法で廃棄しなければならない。

残余廃棄物

この製品は排水溝中に空けてはならない。法令に従って、残余廃棄物、製品の包装材を廃棄処理する。産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の内容を明確にして、処理を委託する。法的規制に適合した設備と方法で焼却処理を行う。焼却条件によっては有毒ガスが発生する可能性があるため、除害装置のある焼却炉の使用を推奨する。

汚染容器及び包装

情報なし

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 : なし
品名(国連輸送名) : なし
品名(国連輸送名 英名) : なし
分類又は区分 : なし
容器等級 : なし

国内規制

陸上輸送 : 法の基準に従い積載・輸送する。
海上輸送 : 法の基準に従い積載・輸送する。
航空輸送 : 法の基準に従い積載・輸送する。
特別の安全対策 : 保護具、消火器を携帯する。
必要であれば、イエローカードを携帯する。
梱包や袋が破れないように丁寧に取扱う。
容器に漏れのないことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
アジピン酸(政令番号:10) : 1~5%
エタノール(政令番号:61) : 1~5%
エチレングリコール(政令番号:75) : 5~15%
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 該当しない
毒物及び劇物取締法 : 該当しない
化審法 : 優先評価化学物質(法第2条第5項)
エチレングリコール, [(3-アルカンアミド (C=8, 10, 12, 14, 16, 18、直鎖型) プロピル) (ジメチル) アンモニオ] アセタート又は (Z) - { [3-(オクタデカ-9-エンアミド) プロピル] (ジメチル) アンモニオ} アセタート
消防法 : 該当しない
外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令別表第1の16項に該当するので、経済産業省のガイドラインの参照や事前相談が望ましい

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

16. その他の情報

すべての化学製品には未知の危険性や有害性があり得るという認識でご使用下さい。危険性や有害性も、使用時の環境、保管状態、保管期間によって異なります。ご使用時を含め、保管、廃棄に至るまで専門知識や経験のある方の指導の元で扱うことをおすすめします。

なお、記載の注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものであつて、特殊な取り扱いをする場合には状況に適した安全な条件設定を講じた上で、ご使用者各位の責任において使用して下さい。ようお願いします。

本SDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。
